

事業所名

放課後等デイサービスふらっぴ有瀬校

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

31日

法人（事業所）理念	運動を通じて健やかな心を育みながら、社会性の習得と自己肯定感を高めることに寄与する。		
支援方針	こども一人ひとりの個性に合わせてスモールステップで支援する。		
営業時間	14時 0分から	18時 0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	①「自分の事は自分でする」をモットーに、時間がかかったり、失敗しながらでも「持ち物の管理」「整理整頓」「体調管理」「身だしなみ」について指導する。②行動手順を示した看板を掲示したり、床面のパネルの色を変えることにより、支援が無くても自分で考えて行動できるようにする。	
	運動・感覚	①縄跳び、鉄棒、跳び箱など、学校体育に準ずる技術指導②ボールなどの道具を使ったプログラムを通じて、楽しみながら「リズム能力」「バランス能力」「変換能力」「反応能力」「連結能力」「定位能力」「識別能力」の7つのコーディネーション能力の向上を支援する。③チームスポーツを通じて集団行動を理解する。④当事業所にて借りてある畑で、土づくりや植え付けなどを行い、屋外で活動する機会の確保。	
	認知・行動	①ブロックやパズルなどの教材を使って空間把握の認知形成。②小集団の構成によるチームスポーツを通じて、ルールに沿った適切な行動形成や、子供達自身で優位に進めるための工夫や話し合いを促す。	
	言語コミュニケーション	①来所時・退所時など、場面に応じた挨拶の指導。②障害特性を考慮して、読み書きなどの基礎学習力の支援。③自立に必要な漢字学習の支援を行い、目標級の合格を目指す。④漢字能力検定の準会場として漢字能力検定を実施して、公開会場では受験が難しい子供が、慣れた環境で落ち着いて受験できるようにする。	
	人間関係社会性	①リーダーを決めて、子供達同士で助け合い、お互いに思いやる気持ちを育てる。②上級生が下級生のサポートをすることにより、自分の気持ちや考えをアウトプットする経験を積む。③定期的に工場見学等の社会見学を実施して、仕事や社会に対する関心を育む。	
家族支援	①子供の発達状況や障害特性の理解に向けた相談援助。②子育てに関する困りごとに対する相談援助。③家族参加型イベントによる療育成果の披露。④関係機関との連携による福祉サービスの仲介。	移行支援	①進学に伴う情報提供および進路相談。②支援内容についての情報共有やすり合わせ。
地域支援・地域連携	たまつあけほの障害者相談支援センターとの連携による、本人と家族の支援。	職員の質の向上	①虐待防止研修の実施。②年2回の避難訓練の実施③要件を満たした職員に対する各種資格取得④全社的に支援内容の見直しの協議。⑤障害特性を踏まえた支援方法の勉強会。
主な行事等	①毎週1回の遠足や事業所内イベントの実施（※夏休み、冬休み、春休みは平日も実施。祝日も実施。）②地域のスポーツ施設にてフットサル大会やマラソン大会などの各種スポーツ大会の実施。③家族も参加可能なハイキングなどの実施。④毎年2月と10月の年2回、当事業所にて漢字能力検定の実施。対象は受験希望者のみで、学習支援の時間に漢字能力検定の学習を行う場合がある。⑤事業所にて借りてある畑にて土づくり、苗の植え付け、収穫などの食育の実施。		